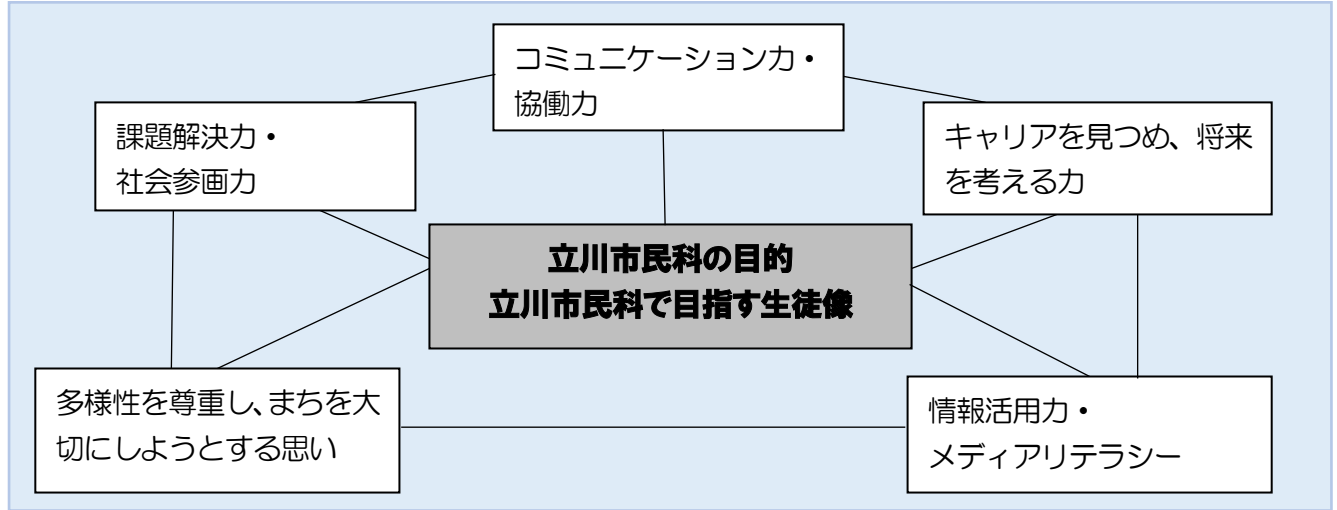


【研究主題】

立川市民科の授業実践を通して深める「社会性の育成」
～道徳科と連携した取組を目指して～

【立川市民科を通して育みたい資質・能力】※立川市民科 授業づくりの手引きより(立川市教育委員会)



○教育長挨拶

立川市教育委員会教育長 栗原 寛

本校におかれましては、令和2年度から4年度までの3年間にわたり立川市教育委員会教育力向上推進モデル校の指定を受け、『立川市民科の授業実践を通して深める「社会性の育成」～道徳科と連携した取組を目指して～』を研究主題とし、研究を進めてこられました。

立川市民科は、生徒が地域と関わることで学習課題を設定し、その解決に向けて必要な情報を集め、どのような働きかけができるかを考えたり、行動したりする市民の育成を目指しています。

本校では、学年の系統性を意識し、「協働的で探究的な学習をする」ことを中心に、教科や行事等との関連を図る実践を通じて、立川市民科の研究を行ってきました。この実践により、地域を大切にしたいという思いが醸成され、よりよい社会の実現に向けた社会性を育むことができると考えます。

研究を進めてこられた、山口 聡校長先生はじめ、本校の先生方に感謝申し上げます。また、日頃より様々な教育活動に御理解・御協力いただいております保護者・地域の皆様方に改めて感謝申し上げ、挨拶といたします。

○校長挨拶

立川市立立川第二中学校長 山口 聡

本校では、令和2年度からの3年間、立川市教育委員会教育力向上推進モデル校の指定を受け、研究を進めてまいりました。私どもは研究主題を『立川市民科の授業実践を通して深める「社会性の育成」～道徳科と連携した取組を目指して～』とし、立川市民科の在り方について研究を重ねてきました。

具体的には、本年度から本格的な実施となった立川市民科において、道徳科と連携し「知る」「関わる」「行動する」プロセスを実施することにより、生徒自身の社会に貢献する意欲、態度を育成することが重要であると考え、授業実践を行ってきました。

新型コロナウイルス感染症拡大により、研究が十分に進まなかった点がござりますが、本資料では、現時点における本校での実践を中心にまとめさせていただきました。

最後になりますが、教育力向上推進モデル校として研究の機会をくださり、御指導いただきました立川市教育委員会の皆様方並びに、本研究に御指導賜りました先生方に、深く感謝申し上げます。



1 主題設定の理由

立川市では令和4年度から立川市民科を全市立小中学校で教科として取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域への意識が希薄する中、地域を知り、関わり、貢献していく生徒の育成には、生徒の実態を踏まえ、立川市民科で心を豊かにしていく必要があると考えた。

生徒の心情を豊かにし、地域の人と関わり、地域・社会に貢献していくための資質・能力を育成する取組を研究の柱とし、道徳科と関連させた立川市民科の在り方を模索することとした。

そこで、本校の研究主題を『立川市民科の授業実践を通して深める「社会性の育成」』とした。

2 研究仮説

○本校の立川市民科で育みたい社会性（生徒像）を明確にし、共有することで、教科となった立川市民科の授業が充実し、「よりよい社会」の実現に向け、主体的に考え、行動する生徒が育つ。

○道徳科において関連する項目について、立川市民科で育みたい社会性を意識して授業を行うとともに、主体的・対話的で深い学びのための工夫した授業により、立川市民科で育みたい社会性がより育つ。

3 本校の立川市民科で育みたい生徒像、各学年の立川市民科の取組、道徳科との関連

地域・社会に貢献する生徒

	1 学年	2 学年	3 学年
主に育みたい 資質・能力	コミュニケーション力・協働力		
	情報活用力・ メディアリテラシー	キャリアを見つめ、将来を 考える力	課題解決力・ 社会参画力
育みたい生徒像	「立川市」について、様々な 角度から調べ学習を行うこ とを通して、地域社会を知 り、立川市に親しみをもて る生徒を育成する。	立川市の地域福祉や職業に ついて学ぶことを通し、地 域や社会との関わりを意 識し、未来の立川市を考 える生徒を育成する。	広島への修学旅行を通し、 平和について考え、国際 社会で主体的に貢献し活 躍できる生徒を育成する。

テーマ	「地域」	「勤労・福祉」	「国際理解」
立川市民科の内容	立川観光プラン 立川シビックプライド 立川市とお金について 長野県大町市*と立川市	職場体験事前学習 職場体験（実習） 福祉体験事前学習 福祉体験（実習）	平和学習（戦争） 修学旅行事前事後学習 国際社会の現状 平和な社会の実現
関連を図る道徳 科の内容項目	C〔郷土の伝統と文化の尊 重、郷土を愛する態度〕 D〔感動、畏敬の念〕	C〔勤労〕 C〔社会参画、公共の精神〕 B〔思いやり、感謝〕	C〔国際理解、国際貢献〕 D〔生命の尊さ〕

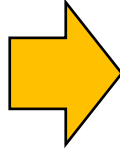
※本市と姉妹都市を締結

第1学年 立川市民科テーマ

「地域（立川市）」

(1) 育みたい「社会性」と「資質・能力」

＜立川市民科で目指す生徒像＞
 ○地域を知り、地域を大切にすることを育み、世界を見つめ、未来を拓いていく生徒
 ○地域と関わり、主体的に考え、行動し、よりよい地域づくりに参画しようとする生徒



【育みたい「社会性」】
 「立川市について知り、立川市の人々や地域に親しみを持ち、その地域とともに暮らしていく」という地域社会に関わる社会性。
【育みたい資質・能力】
 情報活用力・メディアリテラシー

(2) 立川市民科に関わる1年間の取組

時期	学年行事	立川市民科	道徳科の関連
1学期	立川市民科公開講座	立川の地域調べ 立川観光プラン作成 プレゼンテーション（公開講座）	
2学期		立川シビックプライド 姉妹都市（長野県大町市）と立川市調べ	火の島 D〔感動、畏敬の念〕
3学期	1年移動教室 （姉妹都市）	立川市とお金について	ぼくのふるさと C〔郷土を愛する態度〕

(3) 研究重点目標

＜立川市民科＞

- 立川市の地域調べ、観光プラン作成などを通し、地域に親しみを持ち、地域を大切にすることを育む。
- 立川市と財政について学び、地域の将来にも目を向け、よりよい地域づくりに参画する資質を育てる。
- 調べ学習では、タブレットPCを活用した情報収集とまとめを通して、情報活用力を向上させる。



＜道徳科＞

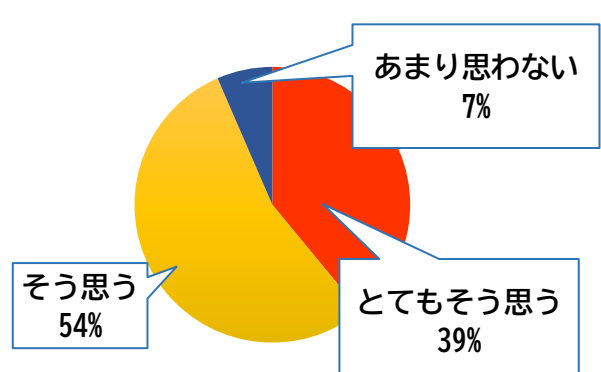
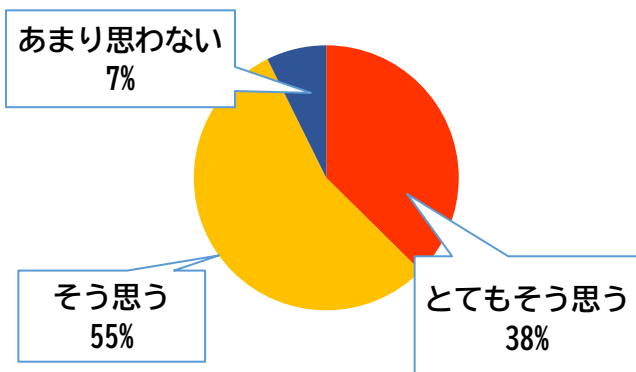
- 郷土意識を深め、進んで地域の発展に努めようとする態度を育てる。
- 話し合い活動を通し、多面的・多角的に考えを深める活動を取り入れる。



(4) 生徒の感想（アンケート実施結果）

①タブレットPCを利用して得た情報を活用して発表にまとめることができましたか？

②立川市民科の学習を通して立川についての知識・理解は以前より深まりましたか？

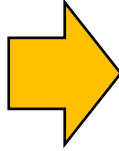


第2学年 立川市民科テーマ

「勤労・福祉」

(1) 育みたい「社会性」と「資質・能力」

＜立川市民科で目指す生徒像＞
 ○地域を知り、地域を大切に思う意をはぐくみ、世界を見つめ、未来を拓いていく生徒
 ○地域と関わり、主体的に考え、行動し、よりよい地域づくりに参画しようとする生徒



【育みたい「社会性」】
 「身のまわりの福祉、状況について考え、立川市の施策や地域の人々の関わりを知り、今後は何が必要か、自分はどう取り組んでいくか」という社会福祉を考える社会性。
 【育みたい資質・能力】
 キャリアを見つめ、将来を考える力

(2) 立川市民科に関わる1年間の取組

時期	学年行事	立川市民科	道徳科の関連
1学期		ガイダンス 職場体験事前学習（職業調べ新聞作成・職業イメージツリー作成）	我、ここに生きる C〔勤労〕
2学期	職場体験 福祉体験 救命講習	職場体験実施 職場体験事後学習（職場体験壁新聞作り） 福祉体験事前学習（オリエンテーション・自立生活支援センターの方のお話を聞く会） 福祉体験実施	見えない体験からみえること B〔思いやり〕
3学期		認知症サポーター講座	心に寄り添う B〔思いやり、感謝〕

(3) 研究重点目標

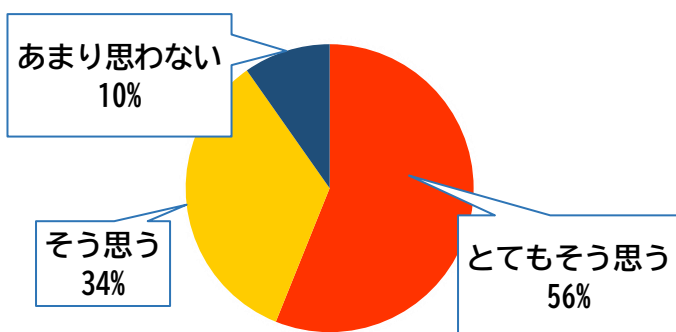
＜立川市民科＞
 ・ハローワークの方の講話を通し、職業についての知識を深め、社会人としてのマナーを養う。
 ・職場体験を通し、働くことの意義について深く考える。
 ・福祉体験から他人への思いやりの心を育て、地域社会の中で貢献できる人材を育てる。



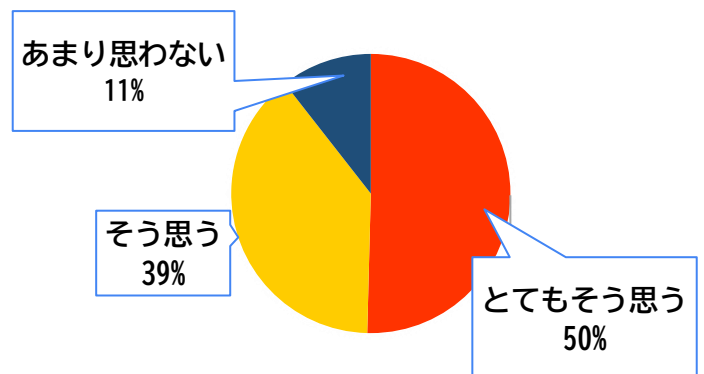
＜道徳科＞
 ・思いやりとは何かについて深く考え、生活や社会の中で思いやりの心をもって行動できる力を育成する。
 ・未来を担う社会人となるために、働くことについての考えを深める。
 ・話し合い活動を取り入れ、対話的で深い学びにつなげる。

(4) 生徒の感想（アンケート実施結果）

①職場体験を通して、働くことや社会づくりについて考えを深めることができましたか。



②職場体験の事前学習や当日の体験を通して、自分の将来について考えを深めることができましたか。



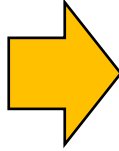
第3学年 立川市民科テーマ

「国際理解(平和学習)」

(1) 育みたい「社会性」と「資質・能力」

＜立川市民科で目指す生徒像＞

- 地域を知り、地域を大切にすることを育み、世界を見つめ、未来を拓いていく生徒
- 地域と関わり、主体的に考え、行動し、よりよい地域づくりに参画しようとする生徒



【育みたい「社会性」】
 「平和学習を行い、日本の歴史や現在の状況、外国との関わりについて考え、その大きなものに対し立川市民として何ができるのか、何をやる必要があるのか」という国際社会について思考を深める社会性。

【育みたい資質・能力】
 課題解決力・社会参画力

(2) 立川市民科に関わる1年間の取組

時期	学校行事	立川市民科	道徳科の関連
1学期		修学旅行事前学習 広島・京都についての調べ学習	
2学期	修学旅行	被爆者のお話を聞く会 修学旅行事後学習 平和な社会の実現のために	その子の世界、私の世界 C〔国際理解、国際貢献〕 平和な社会とは (国際社会の現状)
3学期		未来の平和に向けて (私たちの平和宣言)	C〔国際理解、国際貢献〕

(3) 研究重点目標

＜立川市民科＞

- ・国際理解を通して、よりよい地域づくりのためにできることについて考える。
- ・平和学習を通し、国際社会で貢献できる力を育てる。
- ・未来の地域について課題を見だし、話し合い活動を通して解決する力を養う。

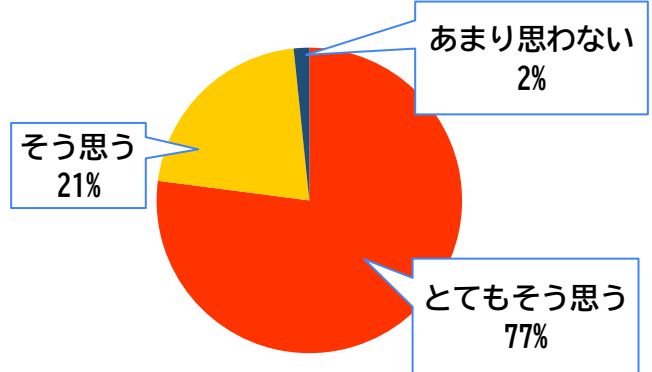
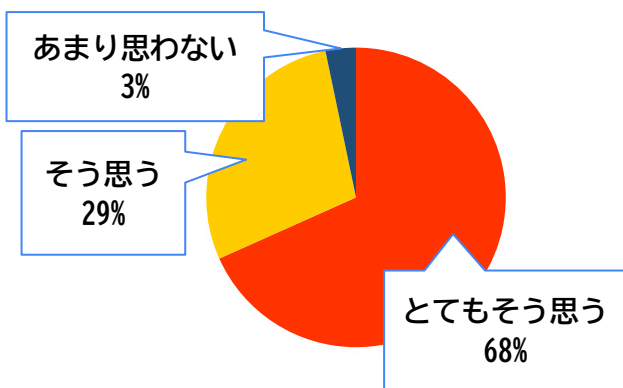


＜道徳科＞

- ・国際社会の中で、日本人として世界の平和について考える。
- ・国際社会の現状を理解し、貢献できることについて考える。
- ・話し合い活動を通し、多角的・多面的に考えを深める活動を取り入れる。

(4) 生徒の感想（アンケート実施結果）

①修学旅行についての学習を通し、日本の歴史や伝統を守り、地域の方のお話を聞き、平和の大切さについて考えることの意義について考えを深めることができましたか。 ②修学旅行についての学習を通し、日本の歴史や伝統を守り、地域の方のお話を聞き、平和の大切さについて考えることの意義について考えを深めることができましたか。



《立川市民科と道徳科の関連》 「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた授業改善

【道徳科における工夫】

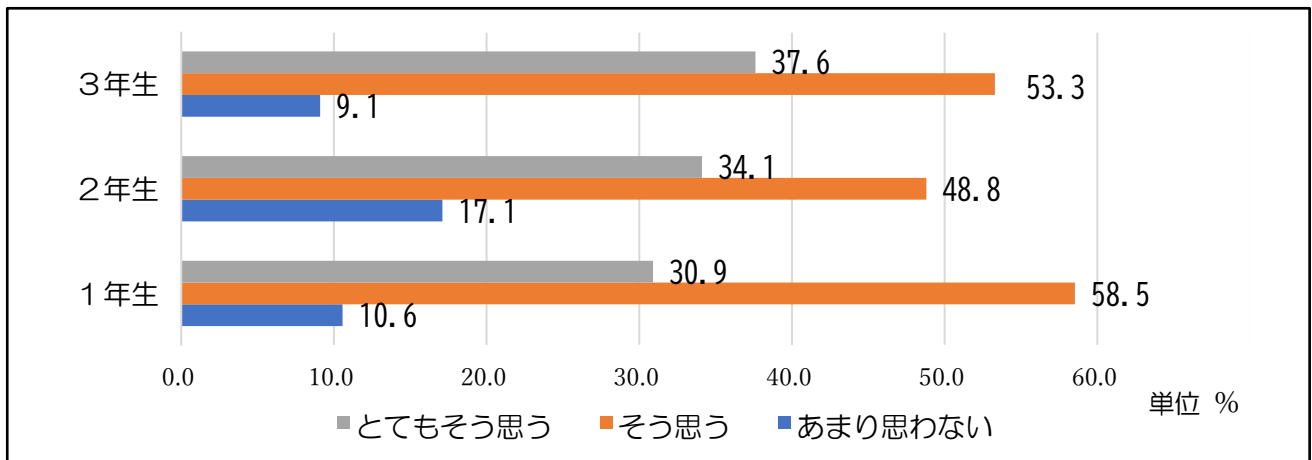
- 事前のアンケート実施（自分の意見をもつ）
- 場面絵の使用・関連映像、画像の使用・タブレット PC の活用
- 心情グラフによる視覚化（考える際の4つのポイントを縦横軸とし、シールで自分の位置を示させる）
- ワークシートの工夫（設問を空欄にする）

【道徳科の授業での話し合い活動の工夫】

- 話し合いでは、「司会を立てる」「ホワイトボードを使用する」ことにより話し合いのスムーズ化を図る。
- 話し合い活動に入る前にタブレット PC に自分の意見を入力させ、発表に対する不安感の軽減を図る。
- 意見を求め、話し合いにつなげる際には個→グループ→全体のサイクルを用いる。
- 教材により複数の立場を示し、授業の始めの考えと話し合いを重ねる中での考えの変容を見取る。

《立川市民科アンケート結果》 【令和4年11月実施】

質問：立川市民科を通し、地域のために何ができるかについて考えることができましたか。



これは、立川市民科に対するアンケートの質問項目の全3問のうち1問の結果である。アンケートは、各学年それぞれのテーマに関連した2問、全学年共通の上記の質問1問をタブレット PC を用いて行った。3年生が実施した全国学力学習状況調査の中の「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」に対して「どちらかといえば、当てはまる」、「当てはまる」と回答した割合は28.2%と低かった。それに対し、今回のアンケートで「とてもそう思う」、「そう思う」と回答した合計が非常に高い割合である要因は立川市民科の学習により、さらに地域に目を向けるきっかけができた成果であると考えられる。より一層の深い学びにつながる工夫を図ることや小・中学校の9年間の継続した学びになるよう連携を深めることが今後の課題である。

《成果と課題》

【成果】

「各学年で育みたい社会性」と「育みたい生徒像」を明確にしたことで、単元の目標設定が定まり、生徒の探究的な活動を中心とした実践を実現できた。道徳科での話し合い活動の工夫を重ねることで、地域を知る、関わっていく心情が大きくなり、立川市民科におけるコミュニケーション力の向上にもつながったと考える。

【課題】

立川市民科が教科となり、道徳科と関連させる研究に取り組んだが、立川市民科の活動を通して、本校のねらいとする社会性が育成できたかどうか明確にできない部分があった。今後、立川市民科の学習をより探究的な学習につなげるために、立川市民科で育みたい力と道徳科で育みたい力を明確にし、体験的な活動を取り入れながらより深い学びにつなげ、地域に貢献する資質・能力を身に付けさせていくことが課題である。